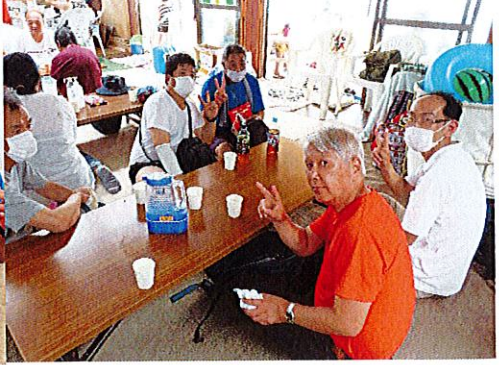
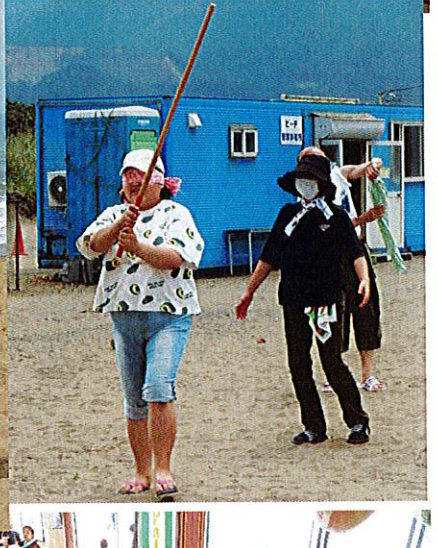
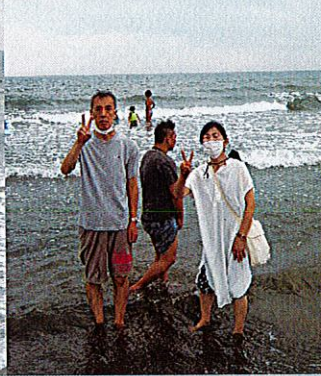


楽しかったね！海水浴

8/4 in 小樽ドリームビーチ



秋の福祉バザー

ダリア祭



大盛況

10月12日(木)に秋の福祉バザー「ダリア祭」を行いました。この日の為に、地域の方から沢山のバザー品をご寄付頂きました。ありがとうございました。

お客さんから「ダリア祭のラーメンを楽しみにしている」とうれしい声も聞かれました。



地域の皆さん、沢山のバザー品をご寄付頂きました。ありがとうございました。



スリッパ売り場

バザー当日、地域の方から「ダリアの花」が届けられました。



模擬店食事処



共同作業所HAPPY売り場

8/1 地域活動支援センター基本補助額大幅引き上げ 札幌市交渉13法人50人が参加！

交渉には、札幌市障害福祉課より企画・調整担当課長児玉哲寛氏、就労・相談支援担当係長渡辺敏広氏、就労・相談支援担当係長谷川朋香氏の3名が参加しました。

挨拶で、児玉課長は「札幌市は財政難ではあるが、正直15年間補助金が据え置きになっている

ことに驚いている。」と発言。下澤彩野札幌ブロック長は「この3月にすでに4事業所が閉所に追い込まれている。何とかこの窮状を改善していただきたい。」と訴えました。

参加者より、物価高騰、職員確保が困難な中で運営している実態、B型に移行せずに運営している理由は「働くことだけが日中活動ではない」「障害受容に悩み働くことを望まない利用者がある」「聴覚障害・高次脳機能障害・薬物依存症等を抱える利用者に合わせて運営を継続させたい」と次々に訴えました。また、ダブルカウントを認めること、処遇改善加算や家賃補助引き上げ等の改善要望策も出されました。利用者からは、「自分の大切な居場所」「なくなったらと思うと不安。」「B型通所と地活で生活を支えてもらっている。私にとってはどちらかを選



ぶことはできない。」と切実な訴えがあり、会場は拍手で包まれました。

最後に児玉課長より、「みなさんからのご意見を参考に予算要求していく。」「9月に予算要求、来年1月の議会で決定になる。」と具体的なスケジュールの発言がありました。

片山和恵きょうされん北海道支部長より「本日は2時間も時間を取っていただいた。地域活動支援センターが大事な場所であることも確認してもらえた。」と感謝を述べ参加者の拍手で終了しました。

(きょうされん北海道支部札幌ブロックニュースより)

自分が利用している地域活動支援センターの事を勉強したいと思って参加した。ダリアの職員さんも私たちも生活がかかっている。ダリアがなくなるとは困る。役所の人には補助金があがるように頑張っていて欲しい。

(白山)

交渉の場で、役所の人から「協力します」とか、「皆さん協力して下さい」という言葉を引き出したことが良かったと思いました。誰もが人間らしく生きられるように要求が実現すると良いと思います。

(堀田)

閉鎖に追い込まれている事業所があると聞きました。一緒に過ごしていた仲間と離れ、人間関係を一から築かなければならない。精神疾患を抱える私たちにとっては大変ストレスです。私たちの居場所を無くさないで欲しい。

(高坂)

1円でも多く補助金を増やして欲しいと思って参加しました。いずれは作業所で働きたいと思っていますが、今はまだ自信がありません。日中みんなとお話をする事が体調を保ってくれています。ダリアが大切な場所です。

(上野)

交渉中に出てきた言葉の意味が分からなくて、自分の勉強不足を感じた。他の事業所の職員さんが、運営の苦労話をされていましたが、事業所同士が困った時に相談し合える場所があると良いと思いました。

(田口)

自分もダリアを利用しているから、自分にも関係していると思って参加しました。内容はとても難しく理解はできなかったけど、みんなと一緒に交渉に参加ができて良かったです。

(斉藤麻実)

ダリアは自分の事を分かってくれている人がいて安心して相談ができる場所。実績があがるように、なるべく通所したい。最低賃金が上がっているのに、補助金があがらないのはおかしいと思った。

(武田)

働くスタッフの給料が上がらないと、サービスにも影響すると思う。せっかく長く勤めていても、給料の事情で仕事を辞めしまうと、一番影響を受けるのは私たち利用者です。ぜひ職員の待遇をよくして下さい。

(伊藤)



私の思いと札幌市交渉に参加して

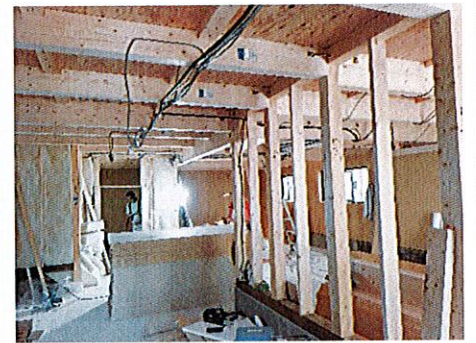


11月完成予定

新・マザーハウスぽぷら



グループホーム建設に、ご寄付を頂きありがとうございます。11月完成に向け工事も進んでいます。



ぽ ぷらに入居して11月で3年目を迎えます。まさか、新居に引っ越しすることになるなんて思っていませんでした。おどろきとうれしい気持ちです。今のGHの建物は冬寒いので、新しいGHでは冬の心配をしなくてもよさそうなので今からうれしいです。
高瀬洋子

昨年の6月に「ぽぷら」に入居しました。新しい「ぽぷら」に移ったら、ケンカしないで4人仲良く暮らしたいと思っています。メンバーに頼るのではなくて、世話人の大橋さんに相談しながら、自分でできる事を増やして行きたいです。
佐々木浩子

～ 入居者の声 ～



常に仲が良すぎて揉める、マザーハウスぽぷらです

支援する会が、私たちが少しでも良い環境で暮らせるようにと考えてくれている事が、うれしくてしょうがないです。新居では部屋をきれいに維持する事と、もめ事を起こさないようにする事を心がけ、心機一転がんばりたいです。
有賀冴子

10年以上「ぽぷら」で暮らしていたので物が多くて、少しずつ片づけながら荷造りをしています。立派な新居を建ててもらえる事に感謝の気持ちでいっぱいです。新居で、トラブルの無いように頑張りたいです。引っ越しの準備をがんばります。
板橋由美子

ありがとう HAPPY ショップ 9周年

おかげさまで HAPPY ショップはこの秋、9周年を迎えることができました。皆さまからの温かいご支援に感謝の気持ちでいっぱいです。心からお礼申し上げます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



9周年を迎えて
地域の方に受けい
られ支えられてき
たと実感しています。
(井上)

いつも今日は何がある
のかナ〜と楽しみに来ています。自分の
好みの物があると宝くじに当たったよう
にうれしくなります。(お客さま)

近くに欲しいも
のが売っていて
本当に助かって
います。
(お客さま)

9周年バザー
を楽しみにしていまし
た。HAPPYといえばウサギ。
バザーでウサギのカップを
見つけてしまい、つい買って
しまいました。これからも掘
り出し物を楽しみに通お
うと思います。
(木崎)

ありがとうございます



コロナが
5類になってお客さん
がきてくれて、居心地の良い場
所になっているのかナ、とうれ
しく思っています。また、お
茶を出して雑談ができれば良
いと思います。(吉田)

4コマまんが



BY みか

《寄付金・寄贈品》

当会の活動に対し、ご支援いただき
厚くお礼を申し上げます。

(順不同・敬称略)

2023. 7. 1～2023. 9. 30

北海道生活と健康を守る会連合会、ニチドク事務機
(株)、藤本青果店、オショロ、舟津充洋、藤田和子、堀田美千子、鍋谷真理子、渡辺、野崎、小島智子、宮崎真澄・文子、斎藤麻実、長谷川、植田、溝上、増山、竹村、竹内、高橋、木村あけみ、南、大西なおこ、沼山恵美子、谷口、石井、田代幸雄、堀見節子、吉川、近澤広美、鈴木志津香、本田、前田、安彦洋子、打矢、(株) ハンドシェイク、土沼芳枝、熊谷通子、小竹澄枝、西野祐介、細川徹恵、岸山周司、木崎直生、高坂瑞世、玉木藤子



～ご協力をお願い～

『書き損じハガキ、ありませんか?』

いつも、ご協力頂きありがとうございます。
支援する会では、書き損じハガキを、支援する会の財政活動に使わせて頂いております。引き続きご協力をお願い致します。

HSK ころから

昭和48年1月13日第三種郵便物承認

発行日 2023年10月10日(毎月10日発行)

HSK 通巻番号 619号

《編集後記》

今年の夏は本当に暑かったですね。残暑も厳しく、私は気が狂いそうでした。岡山にいる両親から「北海道は、冬は寒くて夏は暑い住みにくいところになったね」と気の毒がられました。メンバーさんは暑くても毎日通所。あまりにも暑い日は午後の作業をお休みにしてクーラーの効いた部屋で過ごせるようにしたりしながら、暑さに耐え忍んで猛暑をなんとかやり過ごしました。電気代も灯油代も高騰して迎える冬。みんなが安心して暮らせる社会にするために、一緒に学び、街頭で訴え、新・人間裁判に参加して寝張りましょう。(藤原)